



22年度ポストテスト 1月に実施予定

5月のプレテストでつまずきの多かった問題が各校の取り組みによりどこまで改善が図られてきているのか、また児童・生徒の算数・数学の授業に対する意識はどのように変化してきているのかを確認します。

2月中には調査結果を各校へ報告させていただく予定です。お忙しいところ申し訳ありませんが、調査実施へのご協力を宜しくお願ひします。

12/3(金) 飯山市中高交流学力向上事業 「算数・数学つまずき調査・学習意識調査」説明会 を行いました

平成22年12月3日(金) 飯山市役所第一委員会室において標記の会議を開きました。飯山市内8小学校から5・6年生の担任の先生方、2中学校及び2高校から数学科の先生方、合わせて20名の出席をいただきました。

事務局から、いくつかの報告と提案をしました。

- ・小中高校における各校内での学年間の連携を図った指導の必要性について
- ・授業と家庭学習(宿題)をつなげる3-Stepプリントについて
- ・D-Linesの実践事例報告と、今後の指導について

参加された先生方からは次のようなご意見をいただきました。

学年の中だけで取り組むのではなく学校内に伝えて、継続的に全校で取り組んでいくことが大切だということを実感しました。

日台先生と同じように「単体量当たり」でD-Linesを活用しました。使いこなせば子ども達が苦手としている単元が克服できそうです。

量的二重数直線図は、分数になると、量が減ったか増えたかも児童にはわかりづらいようで、取り入れにくい。実践事例があると、参考になる。

発言される小学校の先生方

北高チューター 秋の陣

飯山市内の両中学校において左記の日程で行われました。城北中学校では、2年生からも3名の参加がありました。

中学生の質問にすぐに答えられないケースもありましたが、さらに力をつけていく必要を感じるなど、その経験からも多くのことを高校生は学んでいます。

近隣の村からもチューターの要望が上がっており、今後の検討課題としていきたいと考えております。



城南中学校 11月27日(土)
中学生12名、高校生6名



城北中学校 12月4日(土)
中学生22名、高校生9名

中学生の声

- ・受験も近くなり自分がまだよくわからないところや得意ではないところ、高校についてや前期試験のことを先輩方に教えてもらいたいと思って参加しました。
- ・高校生の教え方はとってもわかりやすく、苦手なところや困っていたところがすっごく納得のいく感じでわかりました。
- ・進路を考えるきっかけになった。

高校生の声

- ・2回目の参加で、1回目よりはどのように接してどんな時に自分から声を掛ければよいか少しわかった。
- ・中学生のやり方でどう教えていいのかわからなくなった。自分が中学の時はできたけど今やり方を忘れていたのが多くて難しかった。
- ・教えることは難しかったけれど中学生と話をしたり一緒に考えたりして楽しくできたし、自分も勉強になった。